

F37 Bouilland

ワイン好きでなくとも耳にしたことはあるだろう ブルゴーニュ地方の中心であるボヌーから、10 キロ程度北に行ったところのあるエリア。正式なトポなどはみようだが、岩場の歴史はかなり若いと思われる。

登っていると年代物のハーケンを見かけたり、登りこまれている石灰岩独特のツルツルのスタンスのルートも見かける。岩場であった地元クライマーによると、フランスで最大級のシークレットエリアたそうで、ルート数は400 本以上あるという。岩場は帯状に1 キロ以上続いており、端まで歩くと1 時間近くかかってしまう。

グレードも最難で8C (14B)までである。

しかし傾斜はあまりなく、スラブっぽいルートが多い。

岩が脆いせいか全く手付かずの部分もかなりあるが、開拓が進められている様子はなく、少し古いエリアなのかなという印象だ。

とにかくここだけで行く価値はないので、パリから南仏やサボア方面への移動の際や、ワインツアーのついでに寄る程度のエリアと考える方がよい。

岩質

石灰岩

ルート

ルート数は400 本とのことだが、実際登られているのは100 本くらいだろう。

トポはみかけ取り付きにルート名とグレードが書いてあるので、これを見て登るとよい。

ただし何も書いてないルートや、消えかけているものの結構ある。

私は1 日滞りして7C+まで10 本ほどのルートを登ったが、被ったルートは岩が脆いものが多く、少し不安だった。グレードは甘め。

エリア

エリア数はおそらく20 以上になるが、生きていられると思われるのは、アプローチの近い北よりの部分。

真中に岩の洞窟を利用した立派な小屋があるが、これより奥のエリアはほとんど登られていないような感じ。

この小屋の南側のチョークストーンがまったルーフの下は、1 日日陰。ただし私の登ったルートは岩が脆かった。

またその手前の10M ほどの、最も被っているエリアのルートはまあまあ面白い。(と言ってもここでの話)

宿泊

町にはミッドランの3 つ星レストランがついたホテルがある。予算は宿泊が1 万円。食事も一人最低5 千円は必要だが、本格的なフランス料理のフルコースが楽しめる。ただしTシャツなどでは入りにくい雰囲気なので服装には注意。

また15 分ほど南のボヌーの町には安いレストランもある。

キャンプ場などは不明。

シーズン

冬以外。8 月後半でも登れたが、西面なので気温が高い日は14:00 くらいまで。

ショッピング、トポ

町には前記したホテル以外、バーが1 件あるだけ。買い物はボヌーなので済ませる。

トポはrockfax からBOURGOGNE という英語版が発売されている

アプローチ

ボヌー-Beaune からのアプローチを紹介する。

ボヌーからD18、D2 にて北上。Savigny-les-Beaune の町へ。さらにD2 を10 キロほどで Bouilland の町に到着する。岩場を右に見ながら の町に入る。町の看板を過ぎ、最初に出てくる右の道に入る。教会を過ぎ、この山道をどんどんあがっていくと、道が山を越え下りに入る。このコレからさらに右にダウトの林道があるので、これに入りすくに車を止める。この林道は、ほとんど岩場の上に来ている。車を止めたところから1-2 分ほど歩くと、右に下りる山道があるので、これを下ると岩場の左端にでる。あとは岩場の下にずっと道がついている。

レスト

ここはしる岩場よりワインを楽しみたい。

ボヌーの町にはワイン博物館があり、ブルゴーニュの1 本 5000 円程度のワインを18 種類、いくらでも飲むことができる。

自分の好きな銘柄のワインが見つかるだろう。

またボヌーの町自体、観光することでもよい町である。

ボヌー以外の周辺の小さな村にも数え切れないほどの cave があり、ワインの試飲ができるので、これらをまわるのもよい。

2002 年 8 月 内藤直也